

タイトル:2021 年度 教育セミナー(第 17 回)

日時:2021 年 9 月 16 日(木)~19 日(日)

オンライン開催

藪内 彩季(慶應義塾大学大学院文学研究科)

この度は中東・イスラーム教育セミナーに参加させていただき、ありがとうございました。今回のセミナーにおいて、自分は発表しなかったのですが、先生方の講義、他の学生の方々の発表を聞き、とても勉強になりました。特に修士になってから歴史学を始めた自分にとっては、歴史学関連の研究発表を多く聞けて、新しく知ることがたくさんありました。自分の研究に近い部分で、研究の参考となる発表やお話を聞いた一方で、自分の興味を持っている地域とは異なる地域の研究を知れて知見を深められたので、とても有意義な会となりました。

多くの先生方・受講生がいらっしやって、講義や意見を聞かせていただける機会というのは、私にとって初めてで、とても貴重でした。論文を読んでいるだけでは、先生方の研究に対する姿勢や考え方に触れることが難しい時があると思いますが、今回のセミナーで研究内容だけでなく、そうした研究における言葉の取り扱い方や研究方針の設定経緯などについてお話を聞いたことは、とても学びになりました。

他の学生の発表を聞き、多くの学生が発表できるだけ研究が進んでいるということに、とても驚きました。それと同時に、彼らの研究の進め方や、先生方からのご指摘から、自分が今後研究を進めるにあたり、どのような点に気を付けて研究を進めるべきか、学ぶ点が多かったです。

コロナ禍の開催ということで、事前の資料共有など様々な工夫をしてくださり、不自由なくセミナーに参加することができました。オンラインであったため、発表者や質問者以外、ビデオがオフになっていたので、1 日目最後の情報交換会まではとても緊張していましたが、オンラインでもお互いの顔を見て話せたことで、2 日目からは少し安心して参加することができました。

情報交換会は新しく人と会うことが難しい今の時代において、多くの同世代の院生と交流する珍しい機会です、とても楽しく、ありがたかったです。コロナ禍において、様々な院生の方々と自由に情報交換できたことは、今後の学びを続けるうえで強い原動力となりました。

来年はぜひ発表者として参加できるよう、研究を進めたいと思います。

今回はこのような状況の中、大変多くのことを学び、交流できる、貴重で有意義な機会をくださり、ありがとうございました。そして、4 日間お世話になりました先生方、受講生の皆様、ありがとうございました。